

季刊せいてんno.123

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

お盆

その前に

6	1	2
3	4	5
6	7	8
9	10	11
12	13	14
15	16	17
18	19	20
21	22	23
24	25	26
27	28	29
30		



真宗〈悪人〉伝 / 弁円 幸せてなんだろう / 欲望は悪か
 『唯信鈔文意』 / 名号の摂化 「正信偈」 / 源信和尚① もう1人の「親鸞」 / 枕石

No.123

季刊
せいてん

2018. 6. 1 (夏の号)

特集

「お盆、その前に」

- 「歓喜の仏縁週間—真宗のお盆」「本来のお盆」はどこにある」
…………… 満井秀城・編集室 3
「読んでみよう『仏説孟蘭盆経』『孟蘭盆経』への誤解」
「初盆と中陰を考える」…………… 打本和音・編集室 44

はじめの一歩Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑫

- 弁円…………… 井上見淳 9

はじめの一歩Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学⑥

- 欲望は悪か—功利主義がもたらした快樂の時代について… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』②—名号の摂化…………… 安藤光慈 22

せいてん誌上講演

- 「正信偈」⑫ 源信和尚(1) 日本浄土教の黎明 …… 梯 實圓 30

もう1人の「親鸞」⑥

- 「枕石の物語」…………… 黒田義道 40

おてらカメラ ④

- 「光を意識してお寺を撮る」…………… 中西康雄 54

法語随想 ②

- 「如来の作願をたづぬれば 苦惱の有情をすてずして……」 蓮谷啓介 56

読者のページ せいてん質問箱④

- 「本願寺七不思議」って何? …… 大原実代子 58

人ひとみな 物語からであう②

- 「四門出遊」…………… 石川大夏(ともしえ) 63

お寺はいま 大阪府・西教寺「てらこやハッピー」

- 子どもたちに笑顔を…………… 64

西の空 心に響くことば

- 未知…………… 榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは「註釈版聖典(第二版)」、(七祖〇〇頁)とあるのは「註釈版聖典 七祖篇」のページ数を指しています。

特集

お盆 その前に



夏です。夏といえばお盆ですね。

といってもまだ梅雨入りの時期。ずいぶん気が早いようですが、思い出してみてください。お盆直前、いざ準備を始めてみると、気になることがあれこれ出てきてどうしよう。そんなことはありませんでしたか。

うちもお寺も慌ただしい、そんなお盆が来る前に、「せいてん」ならではの切り口で、お盆をゆったり学んでまいりましょう。

特集もくじ

- 歡喜の仏縁週間—真宗のお盆……………満井秀城…P3
- 「本来のお盆」はどこにある……………編集室…P4
- 読んでみよう 『仏説盂蘭盆経』……………編集室…P44
- 『盂蘭盆経』への誤解……………打本和音…P48
- 初盆と中陰を考える……………編集室…P52

歡喜の仏縁週間—真宗のお盆

本願寺派総合研究所副所長・本願寺派司教 満井秀城 みつ い しゅうじょう

いきなりですが、真宗学試験問題をひとつ。

一般に言われている、次の「お盆」の説明文について、真宗的にふさわしくない点を指摘してください。

「毎年お盆の時期になると、先祖の霊が帰ってきます。」

『季刊せいてん』の読者のみなさんなら簡単ですね。まず、「霊」の実は認められませんが、浄土に往生された方の遺相ずんそうは、お盆の時期だけに限られるものではありません。

その上、お盆の風習には、さまざまに追善供養ぜんくようの色彩が強く、これも非真宗的です。浄土に往生し成仏された方に、「追善」の必要はありません。

このように非真宗的要素の多い「お盆」を、なぜ浄土真宗で行うのでしょうか。

「国民的行事だから？」それなら、クリ

スマスも祝いますか？

「仏教行事として他の宗派でも行っているから？」それなら『般若心経はんにやしんぎょう』を誦読じゆくしても構わないということになりませんか？『般若心経』は、阿弥陀仏の徳が説かれていないから、このお経では仏徳讃嘆ぶつとくさんたんにならないですよ。

「追善供養」とも誤解されやすいのですから、やめてしまうのも選択肢の一つかも知れませんが、もったいない気もします。

現在、お盆は国民的行事として定着し、年末・年始とともに、数少ないまとまった休日となっています。そのため、交通機関は、故郷への帰省などで大変な混雑です。それが故郷への帰省なのか、あるいはパカンス旅行とどっちが多いのか、その実態を知りませんが、今でも故郷には、かなりの求心力があることは確かです。今後も、こ

の求心力が続くかどうかは不透明で、地方の親世代が亡くなると、も

はや故郷には戻らないかも知れません。

故郷が求心力を持っている今のうちに、親族みんなが集う貴重な機会として、家族揃そろっての仏縁・仏事ぶつじを維持することには大きな意味があると思うのです。

いわば、この時期を、「親族全員みんな法週間」と規定したらどうでしょう。

「追善供養」の匂いを除去するために、かつて浄土真宗では、「お盆」のことを「歡喜会かんぎえ」と称していました。家族みんなが、今年も平穏で元気に顔を合わせることを慶び、阿弥陀さまのお慈悲に出遇であえたことを慶よろこび、まさしく「歡喜」の仏縁週間に再生してみませんか。



季刊 せいいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

100号を記念しての特別号



ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～/インド・西域・中国・朝鮮半島編
日本編 「入門講座」プラス 「聖典セミナー」プラス 「人間まんだら」プラス

●表紙写真●燃灯仏授記図

101号の主な内容

☆ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～

インド・西域・中国・朝鮮半島・日本編 丘山 新

これまで表紙解説のコーナーでたどった仏教伝来の道を、新たに美しい写真とともに旅しました。インドから日本に伝わった仏教の大きな流れを知ることができます。

☆「入門講座」・「聖典セミナー」プラス

親世音・大勢至一七高僧にちなんで

「私にとっての仏教」その後

親鸞聖人へのアプローチ

その心すでにつねに浄土に居す

「観無量寿経」のころ

「尊号真像銘文」のころ

「一念多念文意」のころ

黒田覚忍

浅田正博

山田雅教

森田眞円

徳永一道

白川晴顕

内藤知康

これまで「入門講座」「聖典セミナー」をご担当いただいた先生方に、あらためてお味わいをご執筆いただきました。



表紙写真

●特集

「仏教説話と譬喩に学ぶ②」より

- はじめの一步I
戦国時代の本願寺③(金龍静)
「証如上人と本願寺」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教⑤(野呂靖)
「六道之沙汰」
- 聖典セミナー
「歎異抄」①(矢田了章)
「前序」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑨(梯實圓)
「お念仏の道を伝えた高僧たち」
- 和讃で学ぶ浄土真宗①
「人間のすがた」(佐々木隆晃)

110号(春の号)2015年3月1日



表紙写真

●表紙解説「ポロドゥール」より

- 100号記念 勤学和上に関く
「聖教の真实性と布教伝道について」
「聖典編纂事業と『季刊せいいてん』」
(梯實圓・徳永一道・内藤知康・佐々木恵精)
- 入門講座
はじめて学ぶ お釈迦さまのご生涯⑥(内藤昭文)
「お釈迦さまの晩年とその後」
- 聖典セミナー
一枚起請文③(高田文英)
「浄土真宗の生命」
御俗姓②(佐々木隆晃)
「親鸞聖人の御遺訓」
仏説阿彌陀経⑤(満井秀城)
「証誠段・流通分」

100号(秋の号)2012年9月1日



表紙写真

●特集

「しなやかにつなげる仏事」より

- はじめの一步I
真宗〈悪人〉伝④(井上見淳)
「熊谷直実」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教⑩(野呂靖)
「植物と成仏 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑥(矢田了章)
「第五条」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑩(梯實圓)
「曇鸞大師(1)大乘仏教の極致」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑥
「信心」(佐々木隆晃)

115号(夏の号)2016年6月1日



表紙写真

●表紙解説「チベット仏教(1)」より

- はじめの一步I
親鸞聖人の人間像①(山田雅教)
「妻がつづった親鸞聖人の素顔」
- はじめの一步II
現代人と宗教①(福永俊哉)
「宗教と学問」
- 聖典セミナー
「御文章」①(高田文英)
「聖人一流章」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑪(梯實圓)
「ご恩に報いるために」
- サンカしよう
「讃仏偈」①(若林真人・山口篤子)

102号(春の号)2013年3月1日



表紙写真
●特集「あわてないための
(大乘非仏説) 入門」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑨(井上見淳)
「顕如と教如(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう③(藤丸智雄)
「自分らしさ」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑪(矢田了章)
「第十条—無義をもつて義とす」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑨(梯實圓)
「善導大師(2) 無量寿仏の名をたもて」
- もう1人の親鸞③
「伝道者としての親鸞聖人」(黒田義道)



表紙写真
●特集「自死と念仏者」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「顕如と教如(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう④(藤丸智雄)
「嘘は悪なのか?」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑫(矢田了章)
「後序—たまはりたる信心」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑩(梯實圓)
「善導大師(3) 仏様に認められて生きる」
- もう1人の親鸞④
「玉日姫と恵信尼さま」(黒田義道)



表紙写真
●特集「わが家で解決
セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑪(井上見淳)
「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)
「他力信心の法義」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑫(梯實圓)
「善導大師(4) 阿弥陀仏に遇う」
- もう1人の親鸞⑤
「幽霊の救い」(黒田義道)

120号(秋の号)2017年9月1日

121号(冬の号)2017年12月1日

122号(春の号)2018年3月1日

◆『季刊せいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙写真
●特集「伝統とその由来」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑤(井上見淳)
「慈信房善鸞(上)」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教①(野呂靖)
「一生不犯 その一」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑦(矢田了章)
「第六条—弟子一人もたず」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑤(梯實圓)
「曇鸞大師(2) 他力のこころ」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑦
「念仏者の利益」(佐々木隆見)

116号(秋の号)2016年9月1日



表紙写真
●特集「私の名著」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)
「慈信房善鸞(下)」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教②(野呂靖)
「一生不犯 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑧(矢田了章)
「第七条—念仏者は無礙の一道」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑥(梯實圓)
「道禪師(1) 末法を生きる」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑧
「念仏者の生活」(佐々木隆見)

117号(冬の号)2016年12月1日



表紙写真
●特集「地獄と仏」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑧(井上見淳)
「唯善(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう②(藤丸智雄)
「わかっちゃいるけど、やめられない」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑩(矢田了章)
「第九条—念仏申し候へども…」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑧(梯實圓)
「善導大師(1) 浄土教を救った高僧」
- もう1人の親鸞②
「比叡山時代の夢告伝説」(黒田義道)

119号(夏の号)2017年6月1日

●これまでの主な特集記事●

- No.100……100号記念 勸学和上に聞く
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓
②聖典編集事業と『季刊せいてん』
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No.102……飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構か否か
- No.116……伝統とその由来
- No.117……私の名著
- No.119……地獄と仏
- No.120……あわてないための(大乘非仏説)入門
- No.121……自死と念仏者
- No.122……わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ

*『季刊せいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがありますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは

本願寺出版社

☎ 0120-464-583

FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊700円(税・送料込)

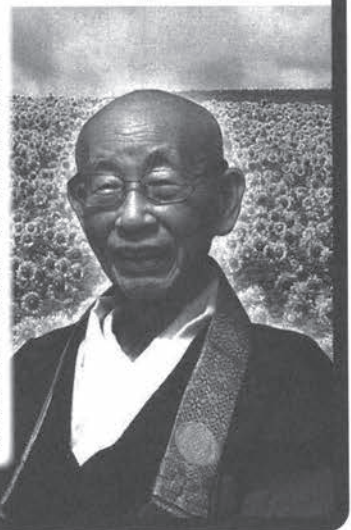
商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。

連載 クローズアップ

《せいてん誌上講演》「正信偈」

102号より好評連載中 梯 實圓

本願寺の碩学、故・梯實圓和上による「正信偈」の講演録です。親鸞聖人のみ教えの結晶ともいえる「正信偈」をやさしく講演いただいています。梯和上の聲に接しているような臨場感にぜひふれてください。



季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

● **年間購読料 2,800円**(税・送料込み)

▲年4回(3・6・9・12の各月)発行

*1部からでもお求めになれます。

● **1部 700円**(税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込み・お問い合わせは↓・

本願寺出版社  **0120-464-583** FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆辛嶋先生の「孟蘭盆」についての新見解は『大法輪』2013年10月号などにも掲載されており、本誌112号45頁でもその概要を少しだけ紹介いたしました。仏教学の最先端の研究結果が、このように身近な現場に直接影響をもたらすケースはとても珍しいように思います。今回は、以前本誌で連載もして下さっていた入澤先生の説とともに、打本先生が詳しくわかりやすく解説して下さいます。「常識」を疑うところからはじまる学問の醍醐味を、どうぞご堪能ください。(N)

◆「お寺はいま」では、はじめの「子ども食堂」の取材となりました。試行錯誤をされながらも、お寺と地域の方がたの理解と協力のなかで、多様な「つながり」が生まれていました。取材の最後に浅井了明ご住職

から、「こどもがまんなか」と書かれたピンパッチを上着につけていただきました。子ども食堂を開催するうえで一番大事なこと、それは未来の宝である子どもたちを中心としたあり方だと再認識しました。(Y)

◆梯實圓先生の誌上講演「正信偈」が源信和尚の段に入りました。現在この誌上講演の原稿確認を著者のご子息である梯信暁先生が行って下さっています。法務と研究活動でお忙しい中、いつも丁寧に原稿を見、重要なご指摘をくださいますので、私たちも大変勉強になっています。

その信暁先生が昨年『新訳往生要集』を出版されました。實圓先生が「実際に読むしかない」(本誌38頁)と言われる『往生要集』を味わうにはもってこいの現代語訳。詳しい語句解説と索引付きです!(D)

投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。
◆あて先は、「〒600-8349 京都市下京区堺町92番地 浄土真宗本願寺派伝道第3本部 総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.123 平成30(2018)年6月1日発行

編集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171